

# 数学科教育の理解を高めるための 数値解析ソフトウェアの適切な活用

松尾 響・佐藤元彦・小泉真也

---

## ●要約

情報通信技術（ICT）は、今や国民の日常生活に欠かせないものとなり、社会における通常の業務においても当たり前利用されるようになってきた。学校教育のひとつの使命として、社会の多様な要請に応えていくことが肝要であり、ICT が生産性や生活の向上を求めて発展する中で、一連の技術に長けた人材の育成は、国際競争力の観点と併せて、教育現場における継続的な課題となっている。

これまでの教育現場での ICT 教育は、リテラシーの範疇に長くとどまってきた。リテラシーを超えた範疇に対する教育の指針は、限られた授業数の中で独立して定めることが困難な中、長きにわたる模索を経た末に、授業での利活用という形で新たな教育政策が取りまとめられた。

筆者らは、教育現場における ICT の利活用へのスムーズな移行を目的に、中学・高校の統計教育を対象に、ソフトウェアの選定と授業の指針を提案する。本稿ではその実践を前に、一連の構想を示す。

## ●キーワード

教育政策

情報通信技術（ICT - Information and Communication Technology）

確率と統計

数値解析ソフトウェア

GNU R